

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1271202606		
法人名	株式会社めいとケア		
事業所名	グループホームめいと中金杉		
所在地	千葉県松戸市中金杉2-72		
自己評価作成日	令和 4 年 3 月 30 日	評価結果市町村受理日	令和 4 年 7 月 31 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人人材パワーアップセンター
所在地	千葉県松戸市総台一丁目25番地6
訪問調査日	令和 4 年 6 月 29 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

現在最も力を入れているのは、利用者様に新型コロナを感染させないようにすることです。当施設の利用者様が自分からコロナに感染してということはありません。感染するのは、職員からうつされる場合です。この点を職員一人一人に徹底させ、職員に私生活を含めて自覚ある行動をお願いしています。次に、当施設のアピールポイントとして以下の2点があります。まず第一に、館内がいつもきれいに整理整頓されていること。きちんとした介護にはきちんとした環境が大切であると考えます。第二に、当施設の入居者様が安心してお顔で生活されていること。認知症の人は自分のおかれた環境に敏感です。施設の雰囲気は微妙に入居者様の表情に反映します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

施設は職員とともに利用者様に新型コロナを感染させないように、感染対策の徹底を図っています。コロナ禍で施設と地域との交流が少なくなるなか、施設長自ら自治会役員として活動し、地域とのつながりを維持するよう努力しています。各種の記録、資料の収集、整理が十分なされ、それらを、運営推進会議、家族だより等の資料として見やすく工夫をし提供しています。コロナ前に実施していた行事、外出等はすべて中止になっていますが、コロナ禍を否定的に捉えず、マイクロバスで最寄りの公園に出かけ僅かな時間だけでも日ごろと異なる風景を見たり、公園内を散策したりする機会を増やせるよう職員の創意工夫に期待します。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		